

工雲会会報



工雲会会長挨拶

工雲会会长 多々納 剛人

会員の皆さまには、工雲会の運営に
対しまして、日頃から一方ならぬご理解、
ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は一旦収束に向かうかと思われ
たコロナ感染症でありましたが、昨年
末から新たに感染力の強いオミクロン
株が猛威をふるい、県内の多くの小・中・
高校で学校閉鎖、学年閉鎖を余儀なく
されることとなりました。

昨年、出雲工高では、校長をはじめ
教職員、保護者等関係者の皆さまの
献身的なご尽力によって、その影響は
最小限に抑えられたと伺いました。

今後もコロナ禍の影響は続くことが
予想されることから、引き続き感染予
防対策に取り組んでいただき、教育の
場の確保、安心して学べる環境維持に
向けご尽力賜りますようお願い申し上
げます。

現在、島根県ではGIGAスクール
構想によつて、小学校から一人一台端
末の整備が進み、ICTを活用した教育
の推進が進められています。

最後になりましたが、工雲会会員の
皆さまのご健勝・ご活躍を祈念申し上げ、
ご挨拶といたします。

島根県には幸福を支える資源が豊富
に存在します。生徒の皆さんは、この
取り組みを通じて、地域の魅力や課題、
可能性を再発見してもらい、自らが学
んだ技術を生かして、島根県がどこに
も負けない幸福度と真の豊かさが実感
できるような地域づくりの担い手にな
なつてもらうことを望みます。

最後になりましたが、工雲会会員の
皆さまのご健勝・ご活躍を祈念申し上げ、
ご挨拶といたします。



ICTの活用は「学びの幅」
を広げると同時に、島根の次
代を創る技術者である出工生
の無限の可能性を引き出し、
高い専門性を取得してもらえ
るものと期待を寄せるものです。

現在、出雲工業高校では新しい取り
組みとして、生徒の生きる力を育み、
高校教育の魅力化とふるさと島根を支
える地域人材の育成を目的に「高校魅
力化コンソーシアム」の取り組みが始
まっています。

隠岐に移住し、廃校寸前の隠岐島前
高校を立て直し、高校魅力化のロール
モデルを生んだ島根県教育魅力化特命
官である岩本悠さんは、「地域づくり
や人づくりの究極の目的は持続可能な
幸せだ」と新聞のコラムで述べられて
いました。

この場をお借りして
学校の近況をご報告い
たします。

七月の会報では、一
学期の様子を報告させ
ていただきましたので、
今回は八月以降の近況
を報告させていただき
ます。

七月の会報では、一
学期の様子を報告させ
ていただきましたので、
今回は八月以降の近況
を報告させていただき
ます。

進路活動について、
求人数は昨年度に比べ
県内県外とも増加しま
した。就職においては
県内内定者が増えまし
た。進学を含め、決定
状況も良好でした。生
徒たちはよく頑張った
と思います。一年生よ
り各学年に適したキヤ
リア教育の推進に努め
ております。

最後に、会員の皆さ
まの益々のご活躍と工
雲会のご隆盛をお祈り
するとともに、引き続
きご支援、ご協力を賜
りますようお願い申し
上げ、ご挨拶といたし
ます。

発行所
島根県出雲市上塩治町420
出雲工業高校工雲会
編集発行人
多々納 剛人
印刷所
有限会社 伊藤印刷



ご挨拶

校長 佐々木 雅典

工雲会員の皆さまに
は益々ご健勝でご活躍
のことと存じます。また、
平素より本校の教
育活動に格別のご支援
を賜り厚くお礼申し上
げます。

この場をお借りして
学校の近況をご報告い
たします。

九月下旬には工雲祭
(文化祭一日、体育祭
一日)を行いました。
本年度も文化祭は保護
者のみ、体育祭は三年
生の保護者のみの入場
人数制限を行う中での
実施となりました。子
どもたちは、活動でき
る喜びや感謝の気持ち
を抱き取り組んでいま
す。今年度は新たな
取り組みとして、入場
を動画配信いたしまし
た。少しでも多くの方
に、学校及び生徒たち
の活動内容を知つてい
ただけたらと思ってい
ます。その他、一年生
の活動内容を知つてい
ただけたらと思ってい
ます。

最後に、会員の皆さ
まの益々のご活躍と工
雲会のご隆盛をお祈り
するとともに、引き続
きご支援、ご協力を賜
りますようお願い申し
上げ、ご挨拶といたし
ます。

今年度の進路状況について

進路指導部 福間嘉寿

工雲会の皆様には平素より、出雲工業高校の教育へのご理解と進路活動へのご協力をいただきまして、大変ありがとうございます。

今年度は、就職選考開始日や同じ時期に戻りました。また、求人数も県内県外ともに昨年度より増加しました(表1)。例年実施しておりました企業を招いての企業説明会や、県内企業見学、また、進学説明会などいくつかの進路に係わる行事も実施形式を工夫したりして1年ぶりに実施することができ進路選択の一助となつたので

はないかと思っています。さて、3年生の進路決定は、3年生の進路状況(表1)によれば、県内では県外に比べて就職率が高くなっています。この傾向は、県外でも似ています。県外では、就職率が高くなる一方で、進学率が低くなっています。

県外では、就職率が高くなる一方で、進学率が低くなっています。この傾向は、県内でも似ています。県内では、就職率が高くなる一方で、進学率が低くなっています。

状況ですが、おかげ様で、就職内定者は現在84名となりました(表2)。進学においても、今年度は大学・短大の数が昨年度より大幅に増え、現在30名(進学希望者の53・6%)、昨年度は29%となっています。具体的には国立大学2名、私立大学27名、短期大学1名です。専門学校など各種学校は現在26名が進路決定しており、高校で学んだ専門分野をさらに深く学ぼうと多くの生徒が工業系の分野に進学します。

立大学27名、短期大学1名です。専門学校など各種学校は現在26名が進路決定しており、高校で学んだ専門分野をさらに深く学ぼうと多くの生徒が工業系の分野に進学します。

さて、今年度は下記のキャリア教育推進事業を実施してきました。
 ・全年年企業説明会(5月)
 ・1年生就職ガイダンス(10月)
 ・県内企業見学(1年生10月、2年生7月、3年生6月)
 ・2年生インターンシップ(11月)

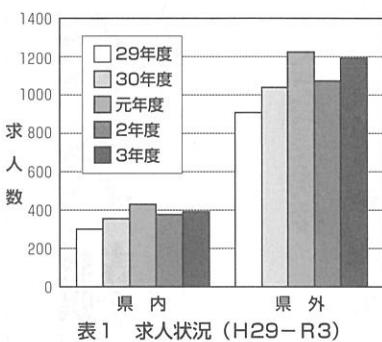
今後もこういった活動を通して本校生徒が自己を見つめ、多くの企業と係わり、将来県内で働き地域の産業振興に貢献する人材となってくれることを願っています。

新しく工雲会に入会する卒業生並びに在校生にこれからも変わりなく温かいご支援ご指導を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

実力的には中国大会で表彰台に手のとどくレベルですが、レースでは何が起こるかわからないので色々なシチュエーションを想定し、悔いの残らないレースにしたいと思います。

表2 令和3年度進路状況(令和3年1月5日現在)

科	在籍	就職				その他 自営、未定	進学				計
		県内	県外	公務員	計		大学	短大	高専	専門学校	
M	36	35 1	16 0	4 0	3 1	23 1	0 0	6 0	0 0	7 0	13 0
A	40	32 8	13 3	3 0	3 0	19 3	1 0	10 4	1 0	7 1	18 5
E	31	30 1	17 1	16 0	7 0	0 0	24 1	0 0	0 0	3 0	7 0
S	35	35 0	16 0	1 0	0 0	17 0	0 0	8 0	0 0	9 0	17 0
計	142	132 10	62 4	15 4	6 0	83 5	1 0	28 4	1 0	26 1	55 5
%							50.9%	1.8%	47.3%	38.7%	
		74.7%	18.1%	7.2%	58.5%	0.7%					



2年県内企業見学



1年生就職ガイダンス



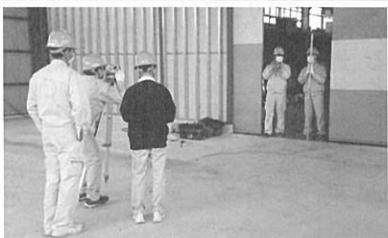
1年生県内企業見学



企業説明会



2年生インターンシップ



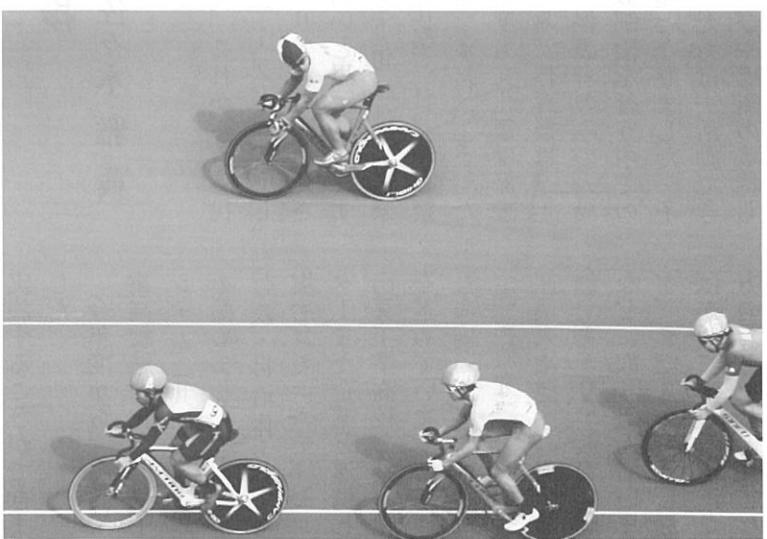
自転車競技部

部長 船木浩太郎

昨年の中国大会では二名の選手が入賞してインターハイに出場することができます。たが全国の壁は大きく自分たちの力の差を思はれました。

今年こそは、中国大会での入賞さらには、

インターハイで表彰台に立つべく日々汗を流して練習をしています。



弓道部

部長 山口 要



県総体の写真

今年は弓道部全員の実力を上げて、県総体で優勝できるよう頑張っていきます。今年は弓道部全員で、来年の大会が開催されるので、それまでにはみんなが上手になつていいようにしたいからです。

県総体では全員参加の大会があるので、それまでに上手になつていいようにしたいからです。



で団体6位や個人で全国選抜へ出場し、他にも沢山の大会で結果を残しているので、県総体でも必ず優勝したいと思っています。一年生の実力を全体的に上げたい理由は、今的一年生は実力の差があまり大きく、来年の大会が開催されるので、それまでにはみんなが上手になつていいようにしたいからです。

令和3年度高校生ものづくりコンテスト 中国地区大会旋盤作業部門大会報告

9月11日（土）、12日（日）ポリテクセンター島根（松江市朝日町）において同大会が実施され、本校からは機械科3年舟木一真君が出場しました。

昨年度から全国大会の実施内容が変更され、それに向けた準備をしておりましたが、新型コロナ感染症拡大のために全国大会、中国大会が中止となりました。それは、今年度の大会の開催にも大きな支障を与え、更には、数年に一度となる島根県開催が重なりました。同大会では、競技時間約2時間



中国新人大会の写真

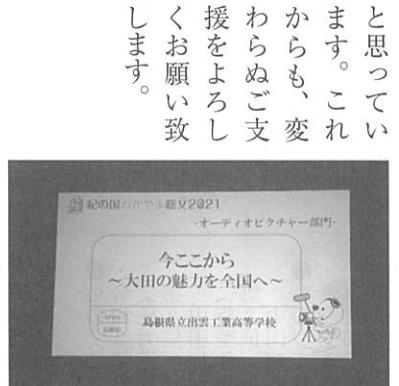
弓道部の今後の抱負は、県総体で優勝し团体でインターハイに出場することと、一年生の実力を全体的に上げることです。

私が県総体で優勝してインターハイに出場したい理由は、昨年の県総体では、団体が2位でインターハイに出場できなかつたからです。昨年は、中国新人大会で団体6位や個人で全国選抜へ出場し、他にも沢山の大会で結果を残しているので、県総体でも必ず優勝したいと思っています。一年生の実力を全体的に上げたい理由は、今的一年生は実力の差があまり大きく、来年の大会が開催されるので、それまでにはみんなが上手になつていいようにしたいからです。

放送部は、2021年8月4～5日の2日間、和歌山県で行われた「第45回全国高等学校総合文化祭放送部門」に出演しました。

今大会では、ビデオメッセージ部門に「絆～ココロを繋ぐ歌～」、オーディオピクチャー部門に「今ここから～大田の魅力を全国へ～」

を出品しました。両作品とも企画・撮影・編集など、完成まで約3ヶ月間の月日をかけて制作しました。残念ながら賞を獲得することは出来ませんでしたが、全国の様々な作品を観て良い刺激になりました。



大会の様子

放送部

今後の抱負

部長 松永優依

私たちも全国優勝を目指して、多くの方が喜んでもらえるような作品を制作していくきたい



放送部門



集合写真

令和3年度 主な部活動報告

2021年度島根県高等学校総合体育大会結果

男子総合(Aグループ)第8位(64点)

A:規模の大きい学校から24校

男女総合(Aグループ)第14位(86点)

●陸上競技

5千m

3千m障害

5千m競歩

7位

M E 2

藤間

慶士

3分59秒

17秒

95秒

39秒

40秒

15秒

15